

18番	富田 宗一 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 健康寿命を延ばすための本市における歯と口腔の健康づくり推進について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>「歯と口の健康は、食べる、話す、表情をつくるなどの機能を支えることはもとより、生活習慣病や要介護状態となることの予防など、全身の健康の保持増進につながることで近年の研究で明らかとなっていることから、オーラルフレイル対策は、全身の健康状態を改善するだけでなく、健康寿命の延伸に大きく寄与することとなる」と、「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」で謳われております。</p> <p>瀬戸市においても「瀬戸市歯と口腔の健康づくり推進条例」が平成31年4月に施行さ</p>	<p>(1) 条例施行後の取り組みについて</p> <p>(2) 現在行なわれている歯と口腔の健康事業についての取り組みについて</p>	<p>① 歯と口腔の健康が生活習慣病の予防や全身の健康の増進につながると考えるが、どのような役割を果たしているかと認識されているのか伺う。</p> <p>② 条例が施行されてから4年が経過したが、条例施行後の新たな取り組みは行われているのか、またその取り組みの事業評価はどのように考えているのか伺う。</p> <p>③ 常日頃から歯と口腔の健康の大切さを意識していただくことが最も大切であり、生涯を通じて歯と口腔の健康を保つ意識を持ってもらうには、どのような周知方法により、市民の意識改革を促していくのか伺う。</p> <p>④ 歯と口腔の健康づくりのためには、日頃から歯科医療関係者等と緊密に情報の共有をする必要があり、条例施行後に新たに市の実施している事業については、どのように情報の共有を行っているのか伺う。</p> <p>① 生涯を通じた歯と口腔の健康推進においては、生活習慣病予防など市民の健康の保持促進が重要であり、そのためには口腔疾患の予防を推進していく必要があると考えるが、本市における取り組み状況と見解を伺う。</p> <p>② 歯科疾患予防が必要であり、生涯に渡って歯科検診を行うことが大事なことでないかと考える。本市の歯科検診の促進及び歯科保健指導の充実のための現状と課題を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

18 番	富田 宗一 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>今年で4年が経過しますが、この条例を制定して、制定前と制定後ではどのように変わったのか、また今後について伺ってまいります。</p>	<p>(3) フレイル予防の観点としてオーラルフレイル(口腔機能の虚弱な状態)の対策</p>	<p>③ 瀬戸市は歯科口腔保健を推進するために妊婦・出産の時期における歯科口腔保健の推進を図っているが、妊産婦における受診率の現状と課題を伺う。</p> <p>④ 成人歯科保健事業において、定期健診を受けている市民の割合が、平成24年と比較して平成29年は上昇し良い傾向にあったが、コロナ禍において市民の歯の健康を重視する意識に変わりはなかったのか、現状と課題を伺う。</p> <p>⑤ 歯科検診の受診は、むし歯や歯周病等の歯科疾患の予防や早期発見の観点から重要であり、受診率を向上させていくことが必要であると考え。歯科検診の受診率向上のために、瀬戸市ではどのような取り組みを行い、受診状況とその状況から捉えた今後の課題と対策について伺う。</p> <p>⑥ 政府の骨太方針に、口腔ケアのフレイル(虚弱)対策が入ったが、それを受けて、口腔ケアの重要性を市民全体に認識させ、向上させるために瀬戸市としてどのような取り組みを考えているのか伺う。</p> <p>① 65歳、70歳の歯科節目健康診査に舌の動きや、嚥下機能の検査等の口腔機能評価を追加して実施することで、口腔機能の低下を早期に発見し、介護予防事業へとつなげていけると考えるが見解を伺う。</p> <p>② フレイル期の中において50代から70代における高齢者の歯科検診受診率と口腔状態の把握状況を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

18 番	富田 宗一 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 子どもの口腔ケアをより一層推進していくには</p> <p>(5) 市民に対しての啓発活動について</p>	<p>③ 介護を必要とする高齢者や障がい者への訪問歯科検診や口腔機能チェックの実施状況と推進体制を伺う。</p> <p>④ 要支援～要介護1・2の段階において地域包括支援センター等との連携により口腔機能チェックを実施することがフレイル予防に直結すると考えられるが、現状と今後の方向性について見解を伺う。</p> <p>① 小児期に歯や口腔の健康について学び、むし歯や歯肉炎予防を実践することは、将来の全身の健康維持・増進につながることから、非常に重要であると考えられる。保育園や小中学校での口腔ケア指導やフッ化物洗口の取り組みについての現状と課題について伺う。</p> <p>① 歯の健康知識、8020 運動・8520 運動・9020 運動等の知識をより一層積極的に推進していくための啓発活動の取り組みについて伺う。</p> <p>② 歯と健康に関心を持ち、う蝕（虫歯）予防や歯周病予防につながる自己管理能力向上について知識の普及啓発活動に努めることが必要と考えるが、これまでに行われてきた取り組みと今後の行っていく取り組みについて伺う。</p> <p>③ 「瀬戸市歯と口腔健康づくり推進条例」を実りあるものにしていくために、関係各位の連携強化をさらに強化していくべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。